

2024 年度 学校関係者評価

世田谷幼稚園

1 本園の教育目標

世田谷幼稚園では「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい」テサロニケの信徒への手紙Ⅰ 5 章 16 節～18 節 この聖書の言葉を教育理念としています。

○一人ひとりの個性と、のびのびとした心の豊かさを大切にします。

○キリスト教の精神にもとづき、愛の心・感謝する心を育てます。

○自然や動植物のふれ合いの中でやさしい心を育てたり、散歩や園外保育に出かけ探索して四季の変化や美しいものに感動します。

○遊び（自由活動）を通して子どもの自発性・創造力を育てます。

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

園の教育理念・教育方針のもと、その教育目標にそった評価項目に従って、自己点検、自己評価を実施することにより、教師自ら客観的に自園を見る目を養う。施設の改善や教育内容の改善に主体的に取り組んでいく。

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組状況
幼稚園の教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針にしたがい保育を考えていく	A	新幼稚園教育要領や園の教育方針の内容を教職員で確認し達成する姿をイメージしながら日々の保育に取り組んでいた。
キリスト教保育のねらいや目指すものを常に問い、カリキュラムや週案を作成する	B	キリスト教保育指針を読んで参考にしながら週案を作成した。『幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿』まんべんなく取り入れ保育を進めたクラスもあったが、少し偏ってしまったクラスもあった。日々の保育の振り返りを参考にカリキュラムや週案を考えた。
子どもをよく観察して、子どもの実態を把握し課題を考えるとともに、一人ひとりの良さを認め評価する	A	振り返りの時間や記録を参考に、自分のクラスだけでなく園児全体の子どもの実態を把握する。教職員全体でそれぞれの子どもの課題について話し合うことができた。

行事や学期ごとに、各クラスの成果や反省点を報告する。	A	行事の後、また学期の終わりには必ず意見を出し合い改善すべきことを話し合った。
遊びを通して工夫したり協力したりする姿が見られる。季節に合う製作や子どもたちの喜ぶコーナー遊びなども取り入れる。	B	子どもたちが工夫して遊んでいるか危険ではないか、また遊びこめているかをよく観察する。その時々の子どもの姿や季節に合う環境設定をした。それぞれの子どもに合う関わり方を日々考えて援助した。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う	B	幼稚園で身につけてほしい生活習慣を意識しながら様々な角度から話をして何度も伝えた。挨拶やマナーを習慣づける。
教育の質の向上のために、世私幼・都私幼・キ保連などの研修に積極的に参加して、職員に資料提供をする。	B	意識を高めるために研修会には積極的に参加したかったが、日々の保育や行事の準備で参加できない時もあった。また、今年は職員会議の時間は十分にとったが、研修会の報告を共有する時間がとれなかった。
子どもの様子をみながら一人ひとりの子どもに合った声かけをして、言葉を豊富に与え、表現力を伸ばす。	A	一人ひとりの子どもの個性や性格を把握して、ちょっとした子どもの変化に気付けるようにする。それぞれの子どもにふさわしい声かけをして表現の仕方を何度も伝える。
園だよりやクラスだよりを通して幼稚園の情報や教師の願いを発信していく	A	園の教育方針や取り組み、また、キリスト教保育の月主題や月のねがいを記載し、保育の内容について情報発信する。クラスだよりを通して子どもたちの様子を丁寧に伝えた。
環境衛生や自身の健康管理について意識を持って過ごす。	A	保育後の部屋、トイレ、水道他園内の清掃にも力を入れ、日々の保育環境を整えた。教師自身の健康管理を常に意識すること。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	それぞれの教師が、一人ひとりの子どもたちの姿を大切にしながら援助や声かけをして幼稚園教育に取り組んでいた。保育の報告、連絡、相談などの報連相をすることで教師全体での園児把握ができた。子どもたちの課題を考えたうえで言葉かけ、援助をすることが難しかったが、今後も日々の振り返りを大切にしていってよりよい保育、幼児教育を目指したい。

◎「3. 4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5 今後取り組むべき課題

課題	取り組み方法
カリキュラムや週案の作成に『幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿』を取り入れる	『幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿』①健全な心と体②自立心③協同性④道徳性・規範意識の芽生え⑤社会生活の関わり⑦自然との関わり⑧数量、図形⑨言葉による伝え合い⑩豊かな感性と表現などをクラス活動以外にも朝の会などを利用して、それぞれのクラスに上手に取り入れたい。
コーナー遊びを増やす	子どもたちが興味を持っているもの、また楽しめそうなものを日々の子どもの姿から想像して環境設定をする。子ども同士の関わりをよく観察して均等に関わることを意識する。
世私幼・都私幼・キ保連などの研修に積極的に参加する	園行事と重なったり、日々の保育の準備で時間がなく研修に参加する時間がなかなか取れなかったが、来年度は出来る限り研修に参加したい。また研修報告を共有する時間を持てるように工夫したい。

※2025年2月20日（木）の幹事会で2024年度の自己評価を配り、後日意見を求めました。

- ・施設は古いが、子どもたちや先生が家族のようでいい幼稚園である。
- ・とてもあたたかい幼稚園に感じる。
- ・幹事をやったことで子育てするうえで大切なことを知ることができた。特に園の行事に関する準備や過程を知ることができてよかった。

3月6日（木）幹事会 於：世田谷キリスト教会集会室
出席者（教師2名、保護者6名）